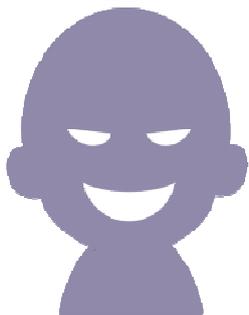


悪意ある書き込みをした経験…10代の約4割「した」！！ ～「イライラして」が4ポイント増の約23%～



情報処理推進機構（IPA）の調査によると、スマホなどの携帯端末を使って、インターネットの掲示板やツイッターに投稿した人のうち、**他人の悪口**など「**悪意ある投稿**」をした人は**10歳代で約42%**となり、前年調査の約30%から12ポイント増加したことが分かりました。

携帯端末でネットを利用する13歳以上の5,000人の男女を対象に、ネット上で匿名で実施したところ、掲示板やツイッターなどに投稿した人は、半数を超える2,624人でした。

このうち「他人や企業の悪口」「下品な言葉」などの悪意ある投稿をした人は、706人でした。

年代別の割合では、**10歳代の約42%**を筆頭に、**20歳代で約33%**、**30歳代で約23%**などと若い世代ほど高いという結果でした。

悪意ある投稿の理由として、「人の意見に反論したかった」が約25%で最も多いという結果でしたが、前年より8ポイント減少しました。

「イライラした」は約23%で2番目に多く、前年より4ポイント増加し、**10～20歳代では最多**となりました。

「特にない、なんとなく」を理由に挙げた人は約19%で、前年より9ポイント増加しました。

投稿後の感情では、後悔や反省を感じる割合は少なく、「気が済んだ、すっとした」が約32%と最も多いという結果でした。

IPAは、この調査結果を踏まえて「インターネット上に**投稿した内容次第では、その情報が広範囲に拡散し、削除できなくなる**ことがある。一時的な感情に任せた投稿をしないよう、**冷静に行うことが必要**」とまとめています。



【本情報は、12月24日付け中日新聞記事を引用しています。】

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 小林

電話：0776-20-0296（直通）メール：s-kobayashi-7g@pref.fukui.lg.jp

「家庭の日」推進テーマ1月「新しい年を迎え、わが家の一年の計画をたてよう」

「青少年育成の日」推進テーマ1月「新しい年を迎え、社会参加への計画を立てよう」